

2021年9月15日
札幌駅交流拠点北5西1・西2地区
市街地再開発準備組合

札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発の マスター・アーキテクトの選定について

札幌駅に隣接する北5西1・西2地区においては、令和元年10月に札幌市が公表した「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」に掲げる、「世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり」の実現に向け検討を進めております。

今後、都市計画等の各種手続きを予定しておりますが、この度、札幌の象徴となる景観づくりに向けたデザイン検討のため、マスター・アーキテクトを選定しましたので、お知らせいたします。

■ マスター・アーキテクト（全体デザイン監修）の選定について

本計画による新たな札幌の景観づくりの実現に向け、マスター・アーキテクトとして建築家の内藤廣氏（株式会社内藤廣建築設計事務所）を招聘し、建物の設計業務を担う株式会社日本設計とともに、施設全体のデザイン監修を担当いただきます。

今後、施設の各箇所のデザイン体制を構築し、マスター・アーキテクト、デザイナー、建築設計者の協業により、建物デザインを具体化していく予定です。北海道の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間や、周辺との一体感が感じられる景観形成に向け、新たな札幌の顔づくりに取り組んでまいります。

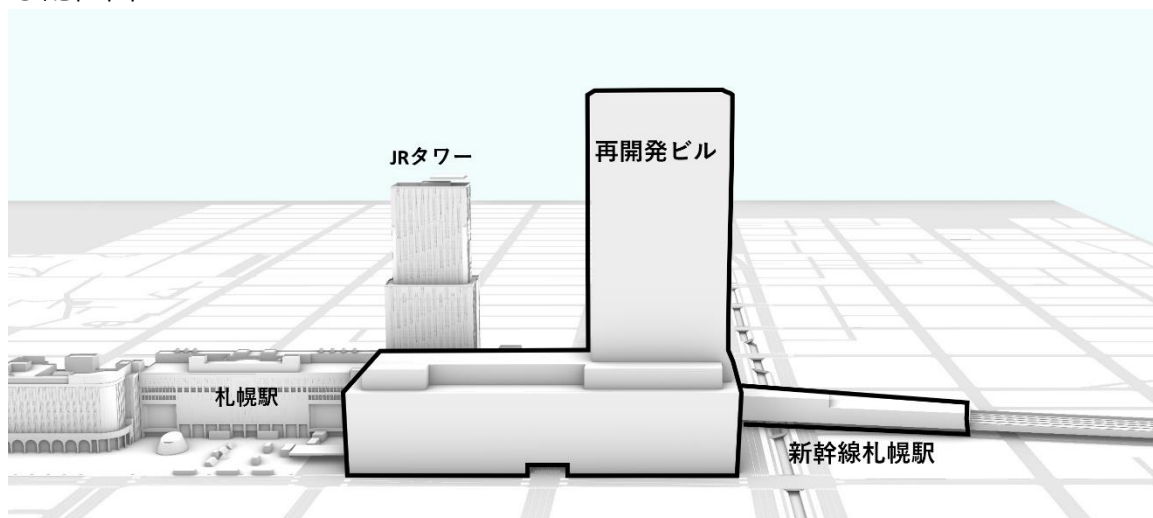


■内藤廣 【建築家・東京大学名誉教授】

1976年早稲田大学大学院修士課程修了後、フェルナンド・イゲラス建築設計事務所、菊竹清訓建築設計事務所を経て、1981年内藤廣建築設計事務所を設立。2001～11年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻にて教授、同大学にて副学長を歴任。2011年～同大学名誉教授。2004年には「岩見沢駅舎建築デザインコンペ」審査委員長、2007～09年度には、グッドデザイン賞審査委員長を務める。

代表作に、海の博物館、牧野富太郎記念館、島根県芸術文化センター、みなとみらい線馬車道駅、日向市駅（JR九州）、虎屋京都店、高知駅（JR四国）、旭川駅（JR北海道）、静岡県草薙総合運動場体育館、富山県美術館、とらや赤坂店、高田松原津波復興祈念公園 国立 追悼・祈念施設、東京メトロ銀座線渋谷駅、京都鳩居堂など。

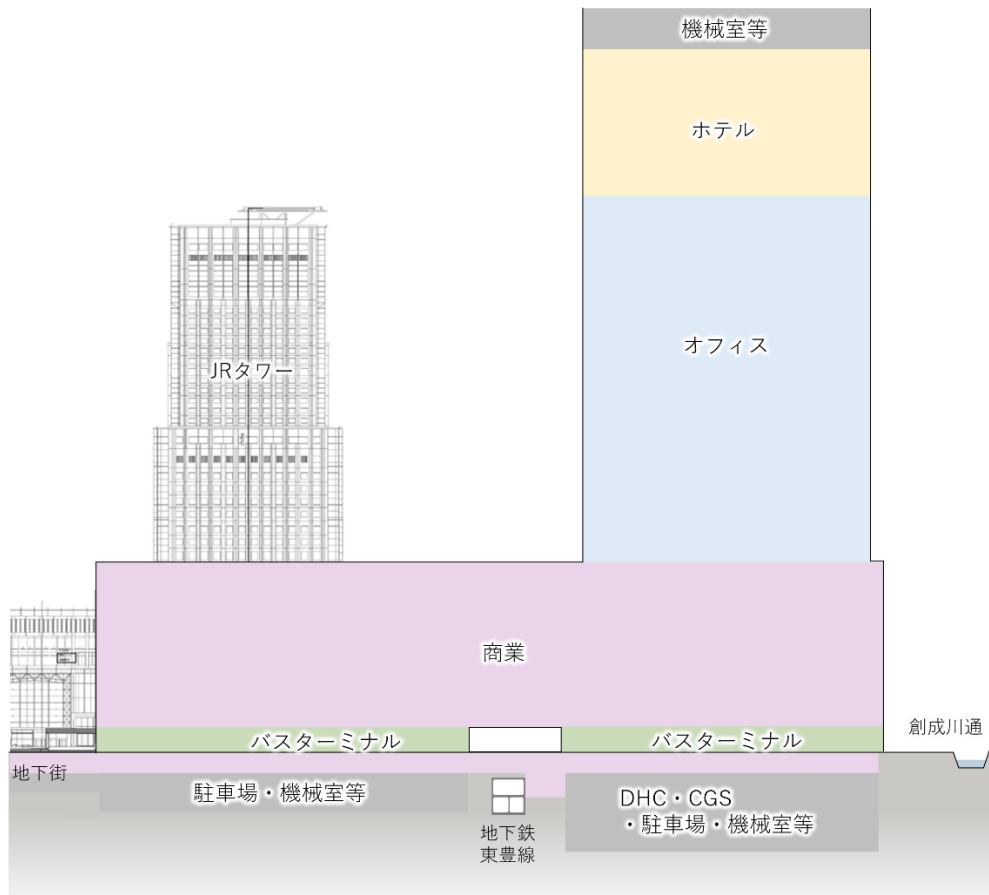
●配置図



●施設イメージ（※現時点のイメージであり、今後デザインを具体化予定）



●施設構成



事業主体	札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合
建築設計	(株)日本設計
所在地	札幌市中央区北5条西1丁目および西2丁目
規模等	延床面積 約 395,000 m ² 建物高さ約 250m 地上 46 階、地下 4 階 ※ (参考) JR タワー: 建物高さ 173m 地上 38 階、地下 4 階
主要用途	商業、業務、宿泊、バスターミナル、駐車場、DHC・CGS
開業時期	2029 年秋 (予定)

※札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合について (令和元年 11 月設立)

理事長	札幌市	副市長	吉岡亨
副理事長	北海道旅客鉄道(株)	取締役副社長	綿貫泰之
理事	札幌駅総合開発(株)	代表取締役社長	平川敏彦
	ジェイ・アール北海道バス(株)	代表取締役社長	小玉宏文
	JR 北海道ホテルズ(株)	代表取締役社長	白崎力雄